



子育ての

ココが聞きたい!

VOL. 6



悩める日々も

思い出に

子育てをしていると子どものできること、できないことを比べてしまったり、怒りすぎ? 甘やかすぎ? などと、"子育て"に繊細になり、不安になったりしませんか?

私が保育士として現場にいたとき、不安になることがありました。

【一番にトントンしてね】

お昼寝時間になるとやってくるAちゃんの決まり文句です。Aちゃんは3人兄弟の末っ子で、少し甘えん坊。彼女がこのセリフを言い始めたのは、お母さんの仕事が忙しくなってからでした。お母さんも「一緒に過ごせる時間が短くなるから寂しい思いをさせるかもしれない」と心配していました。なので「トントンして」を聞いた時には、寂しいであろう思いを受け止めてあげようと、Aちゃんが寝付くまで優しくトントンしました。私は、彼女が安心して過ごせるようになれば自然と離れていくだろう、それまではこれくらいしてあげようと思っていました。

しかし、Aちゃんは月日が過ぎてもなかなか離れず、要求は増すばかり。トントンは日課になり、さらには「着替えさせて!」と腰に手をあて仁王立ち!最初の思いとは裏腹に、ドーンと構える彼女の姿を見て、私は“このままではわがままに育ってしまうのでは?”と不安になりました。それからしばらくの間、“このまましてあげていて良いのかな”と悩んでいたのですが、ある日、モヤモヤが解消されることが起きました。お昼寝に付き添えない日があったのです。Aちゃんに伝えたと、素直に1人で布団に入ってくれたので安心したのですが、用が済んでから様子を見に行くと、布団をかぶって泣いていました。寄り添うとすぐに寝付いたAちゃんを見て、改めて彼女の気持ちを思い直しました。大好きなお母さんと過ごせる時間が減り、保育園にいる時間が長くなったことは、やはり彼女の心に影響を与えていたのです。私の彼女に対する“願い”が強くなり、彼女の“思い”が見えなくなっていたと気づいてからは、思いに寄り添おうと心に決め、しっかりと愛情を注ぐことができたと思います。そんなAちゃんも、トントンが必要のないお姉さんに成長し、元気に卒園していきました。

子育ての中で、悩んだり不安になることは必ずあるでしょう。しかし、それはいつまでも続くわけではありません。子どもたちは日々変わっていきます。子育てで悩みながらも注ぎ続けている愛情が、子どもたちの栄養となり成長に繋がっているのです。今抱えている不安も子どもとの思い出のアルバムに加わり、笑顔で思い返せる日が来ることを信じてください。

子育て支援センターだより (3月)

子育て支援センターは、就学前のお子さんと保護者の方が気軽に参加できるサロンです。1歳未満のお子さんもお大歓迎です!

6日(水) あそびの教室 パパママ整体

13日(水) のびのび広場 おたのしみ会

※時間は両日とも午前10時～11時30分です。

家でできるお子さんの発育を促す楽しい遊び方や、日ごろの生活内容相談など、子育て支援センターの職員が親身になってお話しします。

お気軽にお電話ください!

※利用時間は平日の午前9時～午後4時です。

問合せ 子育て支援センター ☎82-0601

